

2020年度 東工大入試実戦模試志望動向<前期>

2020/11/26

- 全体では、志望者数は指数 98 の前年度並で、前年度の模試の減少に続き微減。
- 理学院は、指数 100 で前年度並で、平均偏差値も 0.1 ポイントアップに留まり、前年度並の動向。
- 工学院は、指数 97 のやや減少で、前年度入試の大幅減少の反動はみられない。平均偏差値も 0.2 ポイントダウンでやや易化。
- 物質理工学院は、指数 105 のやや増加で、前年度模試での大幅減少の反動が見られる。平均偏差値は 0.1 ポイントダウンでほぼ前年度並。
- 情報理工学院は、2020 年度入試で志願倍率 9.1 倍と全学院で最も高倍率だった反動で指数 96 のやや減少。しかし、平均偏差値は 0.4 ポイントと最も大きくアップで、難化傾向。
- 生命理工学院は、後期日程を廃止し、募集人員が 30 人(+29%)増加。指数 106 のやや増加だが、大幅に競争は緩和、平均偏差値は 0.1 ポイントアップしているが、易化傾向。
- 環境・社会理工学院は、2020 年度入試で大幅減少だったが、指数 86 と模試では 2 年連続で全学院で最も減少率が大きい。平均偏差値も 0.3 ポイントダウンで、易化傾向。

2020年度 東工大入試実戦模試 志望状況

大学	学院	志望者指数		平均偏差値差	
		2020年度 /2019年度	2019年度 /2018年度	2020年度- 2019年度	2020年度- 2019年度
東工大	理	100	100	+0.1	-0.1
	工	97	94	-0.2	-0.1
	物質理工	105	85	-0.1	+0.2
	情報理工	96	91	+0.4	+0.7
	生命理工	106	97	+0.1	-0.7
	環境・社会理工	86	83	-0.3	±0.0
	合計	98	92		

